

妊娠 出産 乳幼児期

ネウボラって？

フィンランド語で「相談する場所」が日本語に近い意味。フィンランドでは、「ネウボラ」として、かかりつけの担当者や専門職が、妊娠期から就学期まで切れ目なくサポートしています。

【電話相談／仙北市保健課】
《固定電話》☎ 43-2252
《携帯電話》☎ 080-2813-0835



仙北市ホームページはコチラ！



心豊かな教育文化のまち
《仙北市教育委員会だより》
またうら
第111号

鈴木内中学校
インターナショナルデー

12月10日、中学生が校内小5・6年生を招いて国際交流体験をしました。講師にお迎えしたのは、仙北市国際交流員の黄敏（ファンミン）さん、地域おこし協力隊の鐘偉倫（ジョウイリン）さんです。2人は台湾出身です。子どもたちは台湾のお話を聞いたり、台湾の正月の慣習「春聯（しゅんれん）」を体験したりしました。

「春聯」は赤い紙に墨で縁起の良い文字や願いを込めた文字を書き、玄関に飾る習慣です。例えば、「福」「満」が多く書かれる文字です。いくつかの文字を組み合わせる造字も盛んに書かれています。「福」の文字は、もちろん幸福を願って貼るのですが、そのときは「豊」と、逆さまにするのだそうです。なぜなら、台湾では「逆さま」を意味する「倒」と「来る」を意味する「到」がどちらも「タオ」と同じ発音になることから、「豊」とする「豊」が来る」という意味になる、とのことでした。

黄さんは「みんなが楽しんでくれたことに感謝。今日のことをきっかけに台湾に興味をもってくれたらうれしい」、鐘さんは「今までは市民とふれあえる機会が少なかったのですが、今日は子どもたちと一緒に活動できてよかった」と話してくれました。

藤島劉飛さん（3年）は「とても楽しかった。福の字を逆さまに飾るところが興味深い。正月に家でやってみたい」、また浅利成琉さん（1年）は「自分の好きな漢字を組み合わせて書くところがおもしろかった。台湾は日本と違う文化があって、もっと知りたいと思った」と話してくれました。



鐘さんに教わりながら書いています。

神代中学校
スペシャル給食

12月15日、3年生は「スペシャル給食」でした。例年、小6と中3の子どもたちには「バイキング給食」が実施されていましたが、今年度は通常メニューにプラスしてスペシャルメニューが付けられることになりました。

まずは、3年生がスペシャル授業（食育）を栄養教諭の千田京子先生より受けました。受験に向かって頑張るために「疲労とストレスについて」「脳

を活性化するには「記憶力を高めるには」など、今すぐにも応用したい話がたくさんありました。

古郡博喜さんは「夜食など夜に食べると体によくない」と思っていたけど、食べ方によって体によいと聞いてほっとした。焼きおにぎりを自分で作ってみたい」と感想を教えてくださいました。

スペシャルメニューは後にしておく子どもが多かったです。最後はみんな完食でした。おしゃべりは慎ましく、静かに食事を楽しんでいました。草薨



この日のメニュー。

西明寺小学校
目指せ、未来のオリンピック！



チームで練習中。「最後のポーズはどうする？」

12月14日5校時、3年生の22人は「ダンス教室」に参加しました。教えてくださる先生は、進藤臣智さんと永山孔雅さんです。お2人は秋田市にダンス

スタジオを構え、角館や大曲でダンススクールを開講されています。

この日取り組んだのは、「ブレイクダンス」。2024年パリオリンピックにダンススポーツの種目として決定しています。もしかすると、この中からオリンピック選手が出るかもしれない、と子どもたちに熱く語りかけ、練習が始まりました。「1、2、3、4……」一つの目のステップから、丁寧に教えてもらい、子どもたちの体はリズムに乗って動きます。次のステップ、いくよ、「バッチリー」「いいね」と先生からの言葉

かけに子どもたちはますますやる気アップ、かっこよく踊りたい気持ちがあふれてきます。リズムがどんどん速くなり、「きゃー」「まちがえた」と声が上がって思わず笑いに包まれました。進藤さんは「失敗してもへこむことはない。失敗することは普通のこと。楽しかったな、という記憶が大事」と子どもたちに声をかけていました。

西宮蓮奈さんに感想を聞くと、「難しかったけど、うまくできてよかった。また、ダンスを教えてもらいたい」と話してくれました。

赤ちゃんの急変手前

① 熱がでたとき
元気に過ごしていた子どもが突然熱を出したり、けがをすることがよくあります。子どもは、容態をうまく訴えることができません。そんなとき、どのように対応したらよいか知っておくことが大切です。

症状ごとの対応のポイント

② 咳がひどいとき
熱があっても子どもが機嫌よく遊んでいるか、眠っているようなときであれば、慌てずに様子を見ましょ。ふらふらしたり、食事がとれなかったり、機嫌が悪い場合は、受診しましょう。



③ 下痢をしたとき
子どもは、消化器も未発達で下痢をしやすいです。下痢が激しく回数も多く、ぐったりしているときや、機嫌が悪く食欲がなく、発熱や嘔吐を繰り返すときは、受診しましょう。

④ 嘔吐をしたとき

子どもは、いろいろな原因でよく吐きます。吐く回数が多いときや意識がぼんやりしているとき、尿が半日以上でないときは、早めに受診しましょう。

⑤ やけどをしたとき
家の中にはやけどを起こす原因がたくさんあります。やけどをした部分が「広い」「深い」ほど危険です。やけどの重傷度の判断は難しいので、判断がつかない場合は、受診しましょう。

対応方法

▼ 気温の急激な変化を避け、特に乾燥には注意する。
▼ せきこんだら前かがみの姿勢をとらせ、安静にする。

対応方法

▼ お尻がただれやすいので、温かいタオルで拭いたり、お尻を洗ったりし、清潔を保つ。
▼ 水分補給を十分に行う。できるだけ湯冷ましや麦茶などを多く与える。



対応方法

▼ 吐いたものが気管に入らないように、横向きに寝かせる。

対応方法

▼ 吐き気が止まったら、水分を少量ずつ様子を見ながら与える。
※オレンジなどの柑橘系の飲み物や炭酸飲料、牛乳などは、吐き気を増強させるので注意！

対応方法

▼ 急いで冷たい水、水道水で冷やす。
※衣類を着ている場合は、脱がさずそのまま冷やす。
▼ やけど部分に触らないようにし、清潔を保つ。
※水がくればつぶさない。

診察を受けるときは、

▼ 子どもの普段の様子分かっている人が連れていく。
▼ 症状が出てからの体温や便、尿などの状態や経過をメモしておく。
▼ 脱ぎ着が楽にできる服装で受診する。
▼ 保険証、母子健康手帳、お薬手帳を忘れずに持っていく。

